自ら学び、創造する人材へ

JOBSUPPORT 株式会社ジョブサポート　ジョブサポート

https://www.job-support.ne.jp

株式会社ジョブサポート
代表者●代表取締役 塚田努　**事業責任者**●代表取締役代行 新井啓央
設立●1996年　**資本金**●7000万円　**従業員数**●28人
住所●東京都千代田区飯田橋3-11-13 飯田橋i-MARK ANNEX8F
その他拠点●東京都文京区本郷3-43-16 コア本郷ビル5F B室
ネットワーク●クリーブ
メディア●https://job-support.ne.jp/blog

連絡先　TEL●03-3868-3207
問い合わせ●https://www.job-support.ne.jp

コンサルタント数　3人

サービス
●技術力、ヒューマンスキル、心構えを同時に育成するエンジニア研修
●システム開発

専門分野

業　種	職　種
全業種 IT・通信 製造 消費財・サービス 金融 メディカル コンサルティング	IT・システム プログラマー SE ITコンサルタント

対象者
若手
第二新卒
新卒

顧客
大手半導体商社、中小SIer、大手SIer、決済関連会社、食品メーカー、物流系システム子会社等

編集部の評価

技術スキルだけでなく、ビジネスマナーを含むヒューマンスキル・自走力を同時に育成するエンジニア研修を提供している。研修期間や育成目的に合わせてコースや受講方法を選択でき、新卒・第二新卒や未経験の中途採用者、異動・リスキリング人材まで幅広く支援している。講師は内製化しており、現役エンジニアとして開発やプロジェクトにも携わっているため、技術力を維持しながらヒューマンスキルや仕事の心構えを一体で指導できる点も強みだ。

責任者に聞く　強　み　仕組み　方　針

「新人エンジニアの技術力・ヒューマンスキル・仕事の心構えを同時に育成し、現場の負担を軽減します」



新井 啓央
代表取締役代行

大手求人サービス、中堅SIerを経て2013年より現職。未経験者を即戦力エンジニアへと育成する独自ノウハウを構築し、ゼロからシステム開発部を立ち上げる。全員未経験のメンバーを育成・組織化し、これまでに会社として累計2700人以上の教育実績を創出。IT領域と人材育成の双方に精通した強みを活かし、現在は経営層として事業戦略の推進および開発組織全体のマネジメントを統括。未経験者の早期戦力化を通じた自社の事業拡大と組織成長を牽引している。

新人エンジニアの課題は技術だけでなく、ヒューマンスキルや仕事の心構えの不足

エンジニアのOJT担当者の課題として挙げられるのは、研修を終えた新人が技術不足の状態で現場に配属されることだけではなく、指摘やフィードバックを否定と捉えてしまう考え方や、報連相や問題共有が十分にできないといったヒューマンスキルが不足している点です。

そのため、当社の研修は、技術を教えるだけでなく、ヒューマンスキルや仕事の心構えなど、実際に働く際に重要なスキルも同時に教育します。

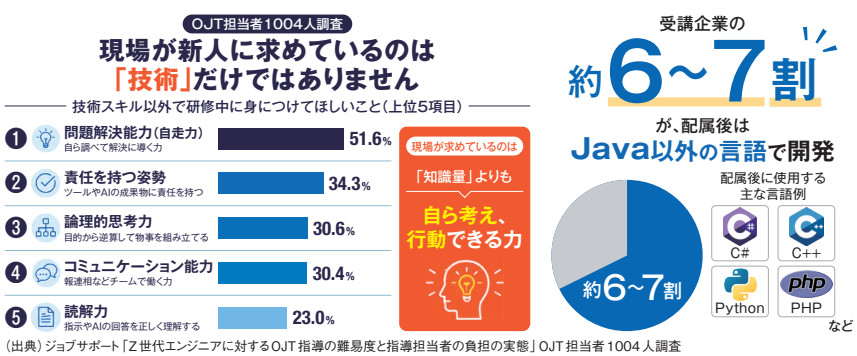
自ら答えに気づく力を養う研修で150社の新人エンジニア教育を支援

研修では「答えを教えず、考える支援」を徹底しており、講義中心ではなく、自学形式を軸とした教育を提供しています。自分で試し、修正し、プログラムを書くという行動を繰り返すことで、知識の定着だけではなく、自ら答えに気づく力を養うことができます。

また、基礎知識がない段階でAIを使うと、出力の正しさを判断できず依存してしまう可能性があるため、研修ではあえて生成AIを使わない期間を設け、配属後のAI活用も、まずは自分で考え、仕組みを理解した上で活用するよう促しています。

受講者の約7割はJava以外のプログラム言語を使う職場へ配属されますので、研修では、特定言語にとどまらないプログラムの根本的な考え方を学ぶことができます。

これらの点が評価され、SIerだけでなく、自社SEを抱える企業や、異職種からエンジニアへの転換を進める企業など幅広く相談を受けており、150社・2700人を超える支援実績につながっています。



（出典）ジョブサポート「Z世代エンジニアに対するOJT指導の難易度と指導担当者の負担の実態」OJT担当者1004人調査

エンジニアにとどまらず、非エンジニアにもヒューマンスキル研修を拡大

近年、ハラスメントへの過度な懸念から、社内の管理職や先輩社員が若手エンジニアに対して必要な指摘が十分にできず、若手の伸び悩みにつながっていると悩む企業が少なくありません。そのため、技術面よりも仕事の仕方を重点的に教育して欲しいという相談も増えています。

こうした人材育成の課題はエンジニアに限りませんので、今後は非エンジニアに対するヒューマンスキル研修などに対象を広げていこうと考えています。